

2019年4月23日

株式会社●○ 御中



診断結果報告書

株式会社●●● 穀物分析センター  
 センター長 中原 正晴  
 〒739-8602  
 広島県東広島市西条西本町2-30  
 TEL(082)420-8714  
 FAX(082)420-0005

署名者

【検体情報】

ご依頼者	株式会社●○ 営業1課 御中
ご住所	×県△市●区■町99番地
検体名	H30年産 広島県産 サンプルA
品 種 名	コシヒカリ
検体識別番号	201800XX-01
検体の種類	精白米
ご依頼日	2019年4月16日
検体受領日	2019年4月17日
分析実施日	2019年4月17日～23日
分析項目	<input checked="" type="checkbox"/> 残留農薬簡易(68成分) <input checked="" type="checkbox"/> 重金属(カドミウム) <input checked="" type="checkbox"/> DNA品種鑑定(定性分析) <input checked="" type="checkbox"/> 食味分析 <input type="checkbox"/> 残留農薬(237成分) <input checked="" type="checkbox"/> 放射性物質(放射性セシウム) <input checked="" type="checkbox"/> 外観品質



見本

【診断結果】

- 安全性評価に関する項目については、全て良好な結果です。
- 品種は、DNA品種判定の結果、申告頂いた品種名と一致し、かつ他品種の混入も確認されませんでした。
- 水分値が少し高い傾向にあります。保管温度によっては劣化が進む要因となりますので、乾燥や保管条件に留意して下さい。
- タンパク値をもう少し抑えることができれば、食味向上に繋がる可能性があります。

施肥計画の見直しや土壌分析を実施するなど、施肥管理の最適化を図ることをお勧めします。

(ご質問等があれば、サタケ穀物分析センターまでお問い合わせください。)

【注意事項】

・分析の結果はご提供いただいた検体に対するものであり、それが属する母集団を保証するものではありません。  
 ・本報告書そのものの複写利用は可能ですが、当センターの許可なく報告書の一部のみを複製して使用することはご遠慮ください。  
 ・当センターでは、本報告書の取扱いにより生じる一切の問題については、何ら責任を負いかねます。

【備考】

※1 酵素阻害法による分析では検体中に残留する成分を特定することはできません。総合毒性を測定し、検出成分が単一成分と仮定した場合の換算濃度による判定のため、残留成分が複数の場合は基準値以下の濃度であっても「基準値を超えている可能性がある」と判定されることがあります。  
 ※2 放射性物質分析は、測定によって求められた放射性核種を全てγ線核種であるセシウム134とセシウム137(原子量134および137のセシウム)との和と看做した放射性物質濃度であり、供した計測機器の精度上、測定値が10Bq/kg以下の場合、「N.D.」での報告となります。  
 ※3 「N.D.」とは、定量下限未満であることを示します。「定量下限」とは、その分析方法で定量できる最低濃度のことをいいます。

安全性評価	残留農薬簡易分析 68成分	分析方法	酵素阻害法 <sup>※1</sup> (サタケ 残留農薬測定装置 ACA2000)	評価	○	
		分析結果	基準値を超える対象成分の残留は認められませんでした。			
		備 考	詳細は、裏面を参照してください。			
安全性評価	重金属分析 (カドミウム)	分析方法	蛍光X線分析法 測定範囲:0.10 mg/kg ~ 0.55 mg/kg	評価	○	
		分析結果	0.10 mg/kg			
		備 考	(参考)米のカドミウム濃度の基準値:玄米及び精米 0.4 mg/kg			
安全性評価	放射性物質分析 (放射性セシウム)	分析方法	CsI(Tl)シンチレーションスペクトロメータによる食品中の放射性セシウムスクリーニング法 <sup>※2</sup>	評価	○	
		分析結果	N.D. <sup>※3</sup>			
		備 考	(参考)一般食品の放射性セシウム基準値:100 Bq/kg			
DNA品種鑑定 (定性分析)	DNA品種鑑定 (定性分析)	分析方法	LAMP法による定性分析法(粉碎した検体について品種を鑑定する方法)	評価	○	
		分析結果	提出検体は「コシヒカリ」と断定できます。			
		備 考				
食味分析	食味分析	分析装置	サタケ 米粒食味計 RLTA10A	評価	やや良	
		食味値(点)	76			
		タンパク質(%d.b.)	7.0		普通	
		水分(%)	15.7		保管注意	
		アミロース(%)	18.9		普通	
		脂肪酸度(KOHmg/100g)	14.0		普通	
備 考	タンパク質はドライベースです。アミロースと脂肪酸度の値は参考値としてください。評価基準は、別紙を参照してください。					
外観品質 形状分析	外観品質 形状分析	分析装置	サタケ 穀粒判別器 RGQI10B			
		分析結果				
		重量比 粒数比 粒数				
		整 粒				
		整 粒	77.0	73.1	731	
		胴 割 粒				
		胴 割 粒	0.3	0.3	3	
		未 熟 粒				
		乳 白 粒	3.1	3.5	35	
		基 部 未 熟 粒	0.4	0.4	4	
腹 白 未 熟 粒	0.4	0.4	4			
青 未 熟 粒	8.0	8.7	87			
其 他 未 熟 粒	8.6	10	100			
着 色 粒						
全 面 着 色 粒	0.0	0	0			
部 分 着 色 粒	0.0	0	0			
被 害 粒						
碎 粒	0.3	0.5	5			
其 他 被 害 粒	0.3	0.3	3			
死 米						
青 死 米	1.6	2.6	26			
白 死 米	0.1	0.2	2			
全粒数			1,000			
				長さ分布	平均値 5.13 標準偏差 0.21	
				幅分布	平均値 2.91 標準偏差 0.17	
				厚み分布	平均値 1.97 標準偏差 0.09	

残留農薬簡易分析68成分 (詳細)

No.	分析項目	結果※4	基準値※5 (ppm)	No.	分析項目	結果※4	基準値※5 (ppm)	No.	分析項目	結果※4	基準値※5 (ppm)	No.	分析項目	結果※4	基準値※5 (ppm)
1	EPN	—	0.02	21	クロルピリホスメチル	—	0.1	41	ピリミホスメチル	—	0.2	61	ホスメット	—	0.1
2	アザメチホス	—	—	22	クロルフェンビンホス	—	0.05	42	フェナミホス	—	0.02	62	ホレート	—	0.05
3	アジンホスメチル	—	—	23	ジクロトホス	—	—	43	フェントロチオン	—	0.2	63	マラチオン	—	0.1
4	アニロホス	—	—	24	ジクロルボスおよびナレド	—	0.2	44	フェノチオカルブ	—	—	64	メカルバム	—	—
5	アラニカルブ	—	—	25	ジスルホトン	—	0.07	45	フェノブカルブ	—	1	65	メタクリホス	—	—
6	アルジカルブ	—	—	26	ジメチルビンホス	—	0.1	46	フェンチオン	—	0.3	66	メチオカルブ	—	0.05
7	イサゾホス	—	—	27	ジメトエート	—	1	47	フェントエート	—	0.05	67	メビンホス	—	—
8	イソキサチオン	—	—	28	ジメピペレート	—	—	48	ブタミホス	—	0.05	68	モノクロトホス	—	0.05
9	イソプロカルブ	—	0.5	29	ダイアジノン	—	0.1	49	フラチオカルブ	—	—	備考			
10	イプロベンホス	—	0.2	30	チオジカルブおよびメソミル	—	0.5	50	プロパルホス	—	—				
11	エチオン	—	—	31	テトラクロルビンホス	—	—	51	クロフェンホス	—	—	備考			
12	エディフェンホス	—	0.2	32	デメトン-S-メチル	—	0.4	52	プロペタンホス	—	—				
13	エトリムホス	—	—	33	テルブホス	—	0.005	53	プロホキスル	—	1	備考			
14	オキサミル	—	0.02	34	トリクロルホン	—	0.2	54	プロメカルブ	—	—				
15	カルタップ	—	0.2	35	パラチオンメチル	—	1	55	プロモホス	—	—	備考			
16	カルバリル	—	1	36	ピペロホス	—	—	56	ベンスリド	—	—				
17	カルボスルファン	—	0.2	37	ピラクロホス	—	—	57	ベンダイオカルブ	—	0.02	備考			
18	カルボフラン	—	0.1	38	ピラゾホス	—	—	58	ペンフラカルブ	—	0.2				
19	キナルホス	—	—	39	ピリダフェンチオン	—	—	59	ホサロン	—	—	備考			
20	クロルピリホス	—	0.1	40	ピリミカルブ	—	0.3	60	ホスファミドン	—	—				

